

「父よ彼らを赦してください」

マタイ28：1～15

■ 父よ彼らを赦してください

イエスキリストは6時間十字架に架けられました。その両脇に強盗二人が、一緒に十字架に架けられました。彼らや群衆は、お前が神の子なら自分を救ってみろ、などとイエスを罵り続けました。その時イエスキリストは十字架上で、7つの言葉を残しました。

- ①「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分ではわからないのです。」
- ②「あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。」
- ③「女の方そこにあなたの息子がいます。」
- ④「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。」
- ⑤「わたしは渇く。」
- ⑥「完了した。」
- ⑦「父よ。わが霊を御手にゆだねます。」

今の世の中は、新型コロナウイルスの感染者を排除し悪者扱いし社会的抹殺するような行為をしています。自分たちの都合のために、自分たちを守るために、イエスキリストを十字架に架ける当時の愚かな行為と同じです。

私たちは、自分に悪いことをする人に悪い態度をとっていないでしょうか。しかし、イエスキリストの行動は違いました。自分にされた悪に対して十字架上でされたことは、①のように彼らの愚かな行為を神の前に悔い改めたことです。

これを原語で見ると、「未完成」で語られているので、彼らの罪をまとめて祈ったのではなく、彼らが行った一つひとつの悪事に対して「彼のしていることを赦してください。」とくり返しくり返し祈っていることがわかります。すると、このことを通して6つの奇跡が起りました。

その一つは、イエスと一緒に十字架に架かり、それまで罵っていた強盗の一人の心が変わったのです。「パラダイスにいるときに、私のことを思い出してください。」と、自分の罪がわかり認めるまでに変えられました。自分に悪くした人を「赦す」というのは十字架刑の拷問に匹敵するほど苦しく大変なことかもしれませんが、イエスキリストが十字架上でしたように、私たちが十字架を背負っている人の赦しを祈ることは、その人の心が変わる奇跡をもたらすのです。劣等感やプライドや覆いを取り去り、負い目のある人に「主よ彼を赦してください。私も彼を赦します。愛

します。」と祈りましょう。イエスキリストは彼に話かけてはいません。祈っています。話しかけてきたのは彼の方からです。イエスキリストは、相手に変化を求めたのではなく、自分が十字架を背負っている相手になすべきことを忠実にしたのです。指さすのではなく、くり返して赦しを祈ったのです。

■ わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか

「見捨てる」は創世記2章24節にある「それゆえ男はその父母を離れ、妻と結び合い、ふたりは一体となるのである。」の「離れ」と同じで、男が妻となるべき女と一体となるために、父母を離れる必要があるように、イエスキリストは花嫁である教会＝私たちと結び合うために、父なる神に捨てられる必要がありました。イエスキリストは、あなた一人ひとりのために神に見捨てられる犠牲を選びました。

■ 完了した→完了された

「離れ」から、脅威や親子関係などには依存せず、一定の距離を保つ必要があることがわかります。イエスキリストは、花婿として花嫁であるあなたを迎えに来ました。だから、私たちは平安です。花嫁であるために命に執着してはいけません。⑦「父よ。わが霊を御手にゆだねます。」ゆだねてください。また、お金や人の目線や不安に執着してはいけません。それによって決断してはいけません。「完了された」というプレゼントを受け取りましょう。

■ 初代教会に立ち返る

イエスキリストの復活・昇天後、弟子たちはそれぞれ家に帰り隠れて礼拝をしました。それが初代教会です。私たちもこれから同じような礼拝の状況ですが、初代教会を踏まえて愚かにならないでください。状況悪化や不安によって、あなたは隣人との関係を破壊したり破壊されたりしてきたかもしれません。しかし、イエスキリストの7つの言葉のように実践し、③隣人を憐み、①隣人の赦しを祈り赦し、平安がある生き方に変えられる決断をしましょう。イエスキリストの大きな犠牲のもとに、あなたの小さな犠牲を払う生き方を決断しましょう。いつも喜び祈り感謝しましょう。愛の義の平和の実が必ずもたらされます。イースターの復活の祝福です。

(要約者：高橋奈津江)

(2020年4月12日)